



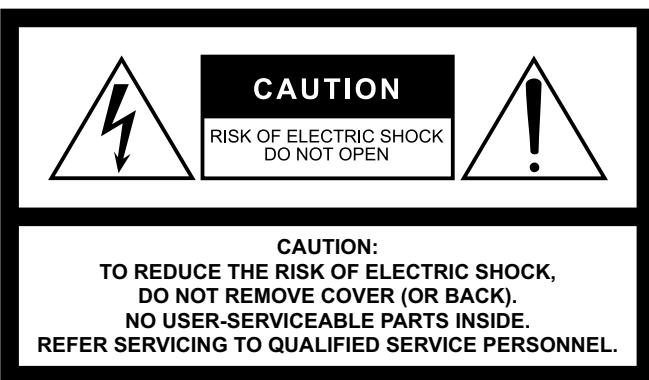
DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE
PM10

SIGNAL PROCESSOR

DSP-R10

取扱説明書



The above warning is located on the rear of the unit.

Explanation of Graphical Symbols

Explication des symboles



The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated “dangerous voltage” within the product’s enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons. L’éclair avec une flèche à l’intérieur d’un triangle équilatéral est destiné à attirer l’attention de l’utilisateur sur la présence d’une « tension dangereuse » non isolée à l’intérieur de l’appareil, pouvant être suffisamment élevée pour constituer un risque d’électrocution.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product.

Le point d’exclamation à l’intérieur d’un triangle équilatéral est destiné à attirer l’attention de l’utilisateur sur la présence d’instructions importantes sur l’emploi ou la maintenance (réparation) de l’appareil dans la documentation fournie.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

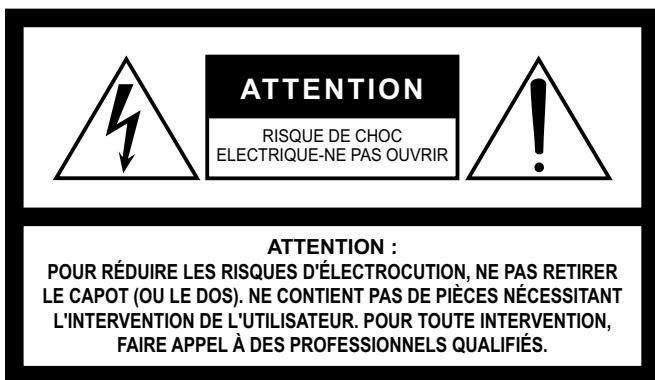
- 1 Read these instructions.
- 2 Keep these instructions.
- 3 Heed all warnings.
- 4 Follow all instructions.
- 5 Do not use this apparatus near water.
- 6 Clean only with dry cloth.
- 7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
- 13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



WARNING

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPARATUS TO RAIN OR MOISTURE.

(UL60065_03)



L’avertissement ci-dessus est situé sur l’arrière de l’unité.

PRÉCAUTIONS CONCERNANT LA SÉCURITÉ

- 1 Lire ces instructions.
- 2 Conserver ces instructions.
- 3 Tenir compte de tous les avertissements.
- 4 Suivre toutes les instructions.
- 5 Ne pas utiliser ce produit à proximité d'eau.
- 6 Nettoyer uniquement avec un chiffon propre et sec.
- 7 Ne pas bloquer les orifices de ventilation. Installer l'appareil conformément aux instructions du fabricant.
- 8 Ne pas installer l'appareil à proximité d'une source de chaleur comme un radiateur, une bouche de chaleur, un poêle ou tout autre appareil (y compris un amplificateur) produisant de la chaleur.
- 9 Ne pas modifier le système de sécurité de la fiche polarisée ou de la fiche de terre. Une fiche polarisée dispose de deux broches dont une est plus large que l'autre. Une fiche de terre dispose de deux broches et d'une troisième pour le raccordement à la terre. Cette broche plus large ou cette troisième broche est destinée à assurer la sécurité de l'utilisateur. Si la fiche équipant l'appareil n'est pas compatible avec les prises de courant disponibles, faire remplacer les prises par un électricien.
- 10 Acheminer les cordon d'alimentation de sorte qu'ils ne soient pas piétinés ni coincés, en faisant tout spécialement attention aux fiches, prises de courant et au point de sortie de l'appareil.
- 11 Utiliser exclusivement les fixations et accessoires spécifiés par le fabricant.
- 12 Utiliser exclusivement le chariot, le stand, le trépied, le support ou la table recommandés par le fabricant ou vendus avec cet appareil. Si l'appareil est posé sur un chariot, déplacer le chariot avec précaution pour éviter tout risque de chute et de blessure.
- 13 Débrancher l'appareil en cas d'orage ou lorsqu'il doit rester hors service pendant une période prolongée.
- 14 Confier toute réparation à un personnel qualifié. Faire réparer l'appareil s'il a subi tout dommage, par exemple si la fiche ou le cordon d'alimentation est endommagé, si du liquide a coulé ou des objets sont tombés à l'intérieur de l'appareil, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à de l'humidité, si l'appareil ne fonctionne pas normalement ou est tombé.



AVERTISSEMENT

POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'INCENDIE OU DE DÉCHARGE ÉLECTRIQUE, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.

(UL60065_03)

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



電源 / 電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストーブなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げない
- 傷つけない
- 電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のもの(8 ページ)を使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

接続



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

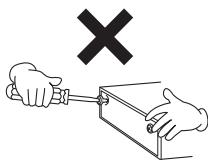
分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



- この機器の上に花瓶や薬品など液体に入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグがいたんだ場合
- 製品から異常ににおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

聴覚障害



イコライザーのつまみとフェーダーをすべて最大にしない。

接続した機器の状態によっては、フィードバックが起きて聴覚障害や機器の損傷になることがあります。



オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を消すときは、パワーアンプを最初に消す。
聴覚障害や機器の損傷になることがあります。

火に注意



この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



この機器の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、この機器の前面/背面には通風孔があります。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



放熱のため、この機器を設置する際は、

- ・ 布やテーブルクロスをかけない。
- ・ じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- ・ 天面以外を上にして設置しない。
- ・ 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。本機の周囲に左右10cm以上のスペースを確保してください。



子供の手の届く場所に置かない。

けがなど事故の原因になります。



塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



地震など災害が発生した場合は機器に近づかない。

機器が転倒または落下して、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



この機器を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。

この機器を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この機器が落下して破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



この機器をEIA標準ラックにマウントする場合は、8ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。

放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になります。

接続



- ・ ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。
- ・ 電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

手入れ



この機器の手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

取り扱い



この機器の通風孔/パネルのすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。



この機器の通風孔/パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



- ・ この機器の上にのったり重いものをのせたりしない。
- ・ ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

バックアップバッテリー



バックアップバッテリーを自分で交換しない。

誤って交換すると爆発や故障の原因となることがあります。

交換はお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- ・手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなつてから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になりますことがあります。
- ・イコライザーをすべて最大には設定しないでください。接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になることがあります。
- ・使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

■ データの保存に関する注意

この機器はバックアップバッテリーを内蔵しており、電源を切った状態でも内蔵時計の時刻情報は保持されます。ただし、バックアップバッテリーが消耗すると内蔵時計の時刻情報が消えてしまいますので、消耗する前にバックアップバッテリーを交換する必要があります。バックアップバッテリーが消耗していくと、コントロールサーフェイスに「Low Battery」が表示されます。その場合は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。バックアップバッテリーの寿命の目安は約5年ですが、使用環境などにより変動する場合があります。

■ コネクターに関する注意

- ・XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)

お知らせ

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、およびSD ロゴはSD-3C, LLC の商標です。



- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のトップカバーにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名 DSP-R10

製造番号

(top_ja_02)

目次

安全上のご注意	3
注記(ご使用上の注意)	6
はじめに.....	8
特長.....	8
付属品.....	8
ファームウェアのアップデート	8
ラックマウント時の注意.....	8
リセスについて	8
各部の名称と機能	9
フロントパネル	9
リアパネル	10
ユーロブロックプラグの取り付け方法.....	12
オプションカードの取り付け/取り外し	13
Mini-YGDAIカードの取り付け	13
Mini-YGDAIカードの取り外し	13
HYカードの取り付け	14
HYカードの取り外し	15
電源の準備.....	15
電源コードの接続	15
電源のオン/オフ	15
困ったときは	16
工場出荷時の状態に戻す	16
メッセージ一覧	17
仕様	19
一般仕様.....	19
ピンアサイン表	21
寸法図	22
索引	25
アフターサービス	26
保証書	27

はじめに

このたびはヤマハDSPエンジンユニットDSP-R10をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。DSP-R10は、RIVAGE PM10システムに求められるすべての信号処理とシステム制御の中核を担う強力なDSPエンジンです。

DSP-R10の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。また、お読みいただいたあとも、保証書とともに保管してください。

特長

- 最大144インプットチャンネルとMIX 72系統、MATRIX 36系統、STEREO 2系統のデジタルオーディオ信号処理能力を備えています。
- 最大256イン・アウトのデジタルオーディオ信号と、コントロール信号の送受信が可能なHYカードスロットを4基装備しています。
- さまざまな伝送フォーマットに対応可能なMini-YGDAIスロットを2基装備しています。
- 2台の電源ユニットを標準で搭載することにより、片方の電源にトラブルが発生しても動作を継続できます。

付属品

- 電源コード2本
- ヨーロブロック端子
- 取扱説明書(本書：保証書付き)

ファームウェアのアップデート

この製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートすることができます。

ファームウェアのアップデートに関する情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトに掲載されています。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

アップデートの手順については、ウェブサイトに用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

ラックマウント時の注意

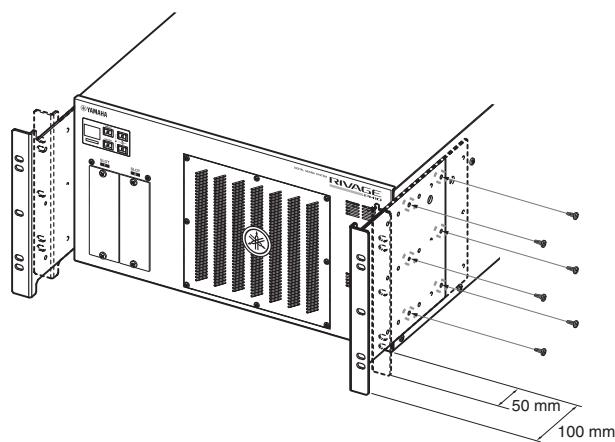
この機器が動作保証する室温は0~40°Cです。この機器を複数台または他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。

この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気用装置を設置してください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご参照ください。

リセスについて

この機器は、ラックマウント金具の取り付け位置をずらすことで、下の図のように、パネル面をラック前面より50mmまたは100mm奥に配置できます。

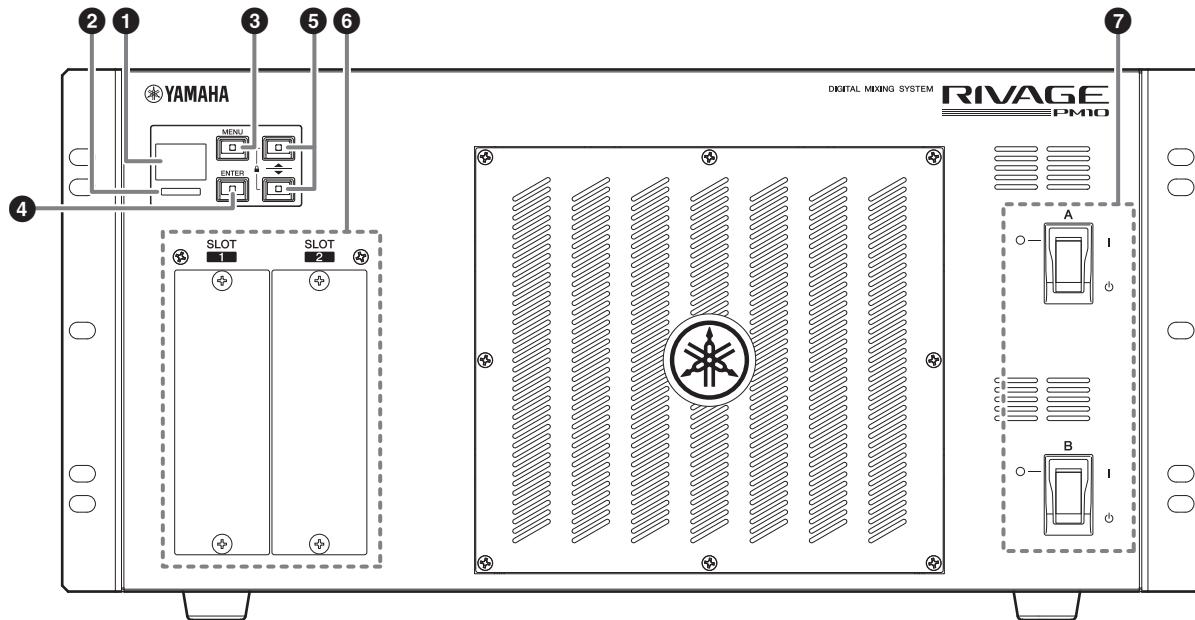


NOTE

金具を取り付けるときは、必ず取り外したネジをそのままお使いください。

各部の名称と機能

フロントパネル



① 液晶画面

本体の設定項目を表示します。

② カラーインジケーター

本体の状態を表示します。

赤(点滅)	致命的なエラーが発生
黄(点灯)	異常があるが継続使用可能
緑	正常

③ [MENU]キー

以下の設定項目を液晶画面に表示します。

Unit ID	本体のIDを設定します。個々の機器を識別するため、同じI/O Networkに接続している機器を別々のIDに設定してください。 設定方法についての詳細は、RIVAGE PM10システムセットアップガイドの「Unit IDを設定する」をご覧ください。
Fan Spd	本体の冷却ファンの速度を設定します。 電源ユニットの冷却ファンの速度は変わりません。
Brightns	液晶画面の明るさを設定します。
Contrast	液晶画面のコントラストを設定します。
FaultOut	FAULT OUTPUT端子から外部に異常を通知する条件を設定します。 Red: カラーインジケーターが赤(点滅)するエラーが発生したときに通知 Y&R: カラーインジケーターが黄(点灯)または赤(点滅)するエラーが発生したときに通知
F/W Ver.	本体ファームウェアのバージョンを表示します。
Initialz	本体を初期化します。

④ [ENTER]キー

設定項目やパラメーターを決定します。

⑤ [▲]/[▼]キー

設定項目やパラメーターを選択します。

⑥ MYカードスロット

別売のMini-YGDAIカードを装着します。

⑦ I/O(電源スイッチ)

電源のオン(I)/オフ(O)を切り替えます。電源ユニットがオンのとき、インジケーターが点灯します。

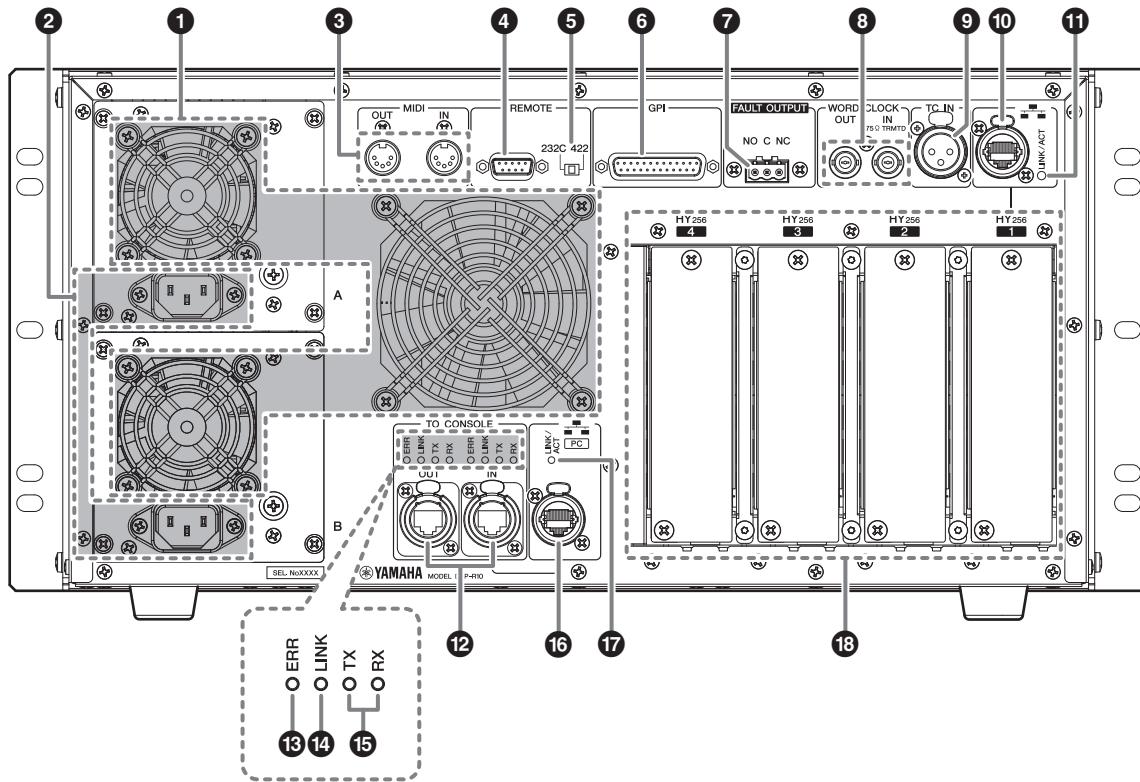
△ 注意

- 電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。
- 電源スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源コードをACコンセントから抜いてください。

NOTE

電源の冗長性を確保するため、本体の電源A/Bを両方ともオフまたはオフにしてください。片側だけがオンの場合、液晶画面にエラーメッセージが表示され、カラーインジケーターが黄(点灯)になります。

リアパネル



① 排気口

本体には冷却用ファンが装備されています。ここから排気が行なわれますので、障害物などで排気口をふさぐことのないようにご注意ください。

② AC IN (電源入力)端子

付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうのを防ぎます。

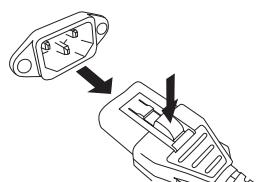
NOTE

AとB両方の端子に電源コードを接続した場合、通常動作時には両方の電源ユニットから電源が供給され動作しますが、片方が故障した場合でも、もう一方から電源が供給され動作します。

△ 注意

電源コードを接続したり、取り外したりする前に必ず電源をオフにしてください。

電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



③ MIDI OUT/IN端子

外部MIDI機器との間でMIDIメッセージを送受信する端子です。(将来のアップデートでサポート予定)

④ REMOTE端子

外部機器からの制御を行なうために、信号を送受信するD-SUB 9ピンオス端子です。(将来のアップデートでサポート予定)

⑤ シリアル通信切り替えスイッチ

REMOTE端子の信号規格をRS-232CとRS-422とで切り替えるスイッチです。

⑥ GPI端子

GPIに対応した外部機器との間で信号の送受信(5イン/5アウト)を行なうためのD-SUB 25ピンメス端子です。(将来のアップデートでサポート予定)

⑦ FAULT OUTPUT端子

本体の異常を外部に通知するためのユーロブロック端子です。ランプやブザーなどを接続します。本体が正常に動作しているときはNC端子とC端子が短絡し、異常が発生したときはNO端子とC端子が短絡します。

NOTE

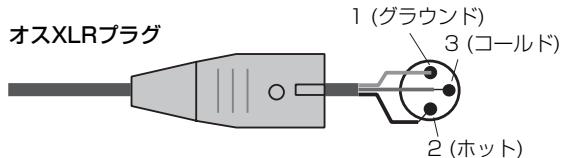
本体の電源スイッチをオフにした場合も、異常が発生したときと同様、NO端子とC端子が短絡します。

⑧ WORD CLOCK OUT/IN端子

外部機器との間でワードクロック信号を送受信するためのBNC端子です。WORD CLOCK IN端子は内部で75Ω終端されています。

⑨ TC IN端子

外部機器からタイムコード信号を受信するためのバランスXLR-3-31メスタイプの入力端子です。



⑩ NETWORK端子

イーサネットケーブル(CAT5以上)を使用して、外部機器と接続するRJ-45端子です。(将来のアップデートで対応予定です。)

NOTE

- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクターの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ケーブル長は、機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できるケーブルの長さは異なります。

⑪ LINK/ACTインジケーター

接続状況に応じて緑色に点灯/点滅します。
点灯はリンク成立時、点滅はデータ転送中です。

⑫ TO CONSOLE OUT/IN端子

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、コントロールサーフェス(CS-R10)に接続するためのRJ-45端子です。

NOTE

- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクターの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ケーブル長は、機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できるケーブルの長さは異なります。

⑬ ERRインジケーター

エラー発生時に赤色に点滅/点灯します。
インジケーターが消えない場合は、巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

⑭ LINKインジケーター

ネットワークの状況に応じて緑色に点滅/点灯します。

緑(点滅)	Console Networkへの接続準備中です。この状態が長く続く場合は正しく動作していません。以下の対処をしても問題が解消されない場合は、巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none">RIVAGE PM10システムの電源を入れ直す。ケーブルの接続方法が正しいか確認する。ケーブルが確実に挿入(ロック)されているか確認する。別のケーブルに交換する。
緑(点灯)	Console Networkに正しく接続しています。

⑮ TX/RXインジケーター

TO CONSOLE OUT/IN端子で信号を送信(TX)または受信(RX)すると、それぞれのインジケーターが緑色に点滅します。

⑯ NETWORK端子 [PC]

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。
専用のアプリケーションプログラム「RIVAGE PM10 Editor」からミックスパラメーターを操作したり、シーンモリー/各種ライブラリーを編集したりする目的で利用します。

NOTE

- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクターの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ケーブル長は、機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できるケーブルの長さは異なります。

⑰ LINK/ACTインジケーター

接続状況に応じて緑色に点灯/点滅します。
点灯はリンク成立時、点滅はデータ転送中です。

⑲ HYカード スロット

別売のHYカードを装着して、RPIo622などのI/O ラックと接続することにより、入出力ポートを拡張できます。HYカードスロット1はTWINLANeネットワークカードのみ装着できます。(HYカードスロット2は将来のアップデートで対応予定です。)
HYカードスロット3は汎用I/Oとして使用できます。
HYカードスロット4はマルチトラックレコーディング専用のスロットです。

本体は下記のHYカードに対応しています。

- HY256-TL
- HY144-D

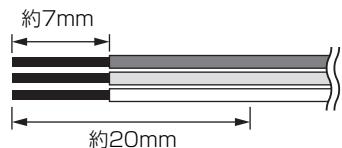
最新の情報はヤマハプロオーディオウェブサイトをご覧ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

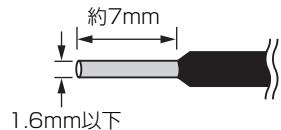
ユーロブロックプラグの取り付け方法

FAULT OUTPUT端子には付属のユーロブロックプラグを使って接続します。

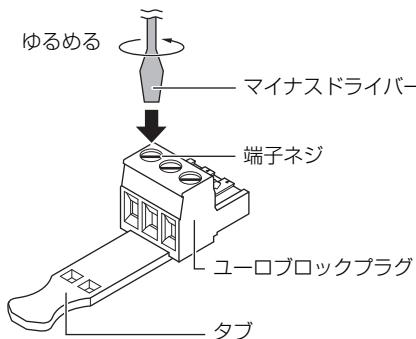
事前準備(ケーブルの処理)



- ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルにはより線を使用し、図のようにむき出して配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動による金属疲労により、より線が切れやすくなる場合があります。ラックマウント時は、なるべく束線バーなどを使用してケーブルを結束して固定してください。
- 可搬設備などで頻繁に抜き差しする場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用を推奨します。棒端子のコンダクター部は、外径1.6mm以下で、長さ約7mmのもの(Phoenix Contact社製AIO,5-6WHなど)をご使用ください。



1. 端子ネジをゆるめます。



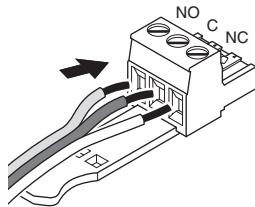
* タブ付きのユーロブロックプラグを使って説明しています。

NOTE

マイナスドライバーは、3mm以下のものを使用してください。



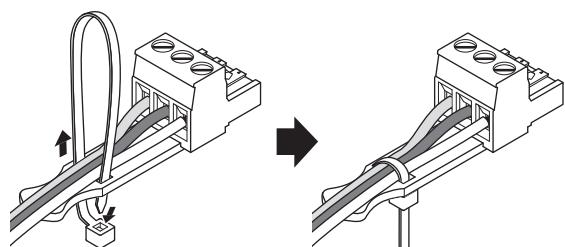
2. ケーブルを差し込みます。



3. 端子ネジをしっかりと締め付けます。

ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

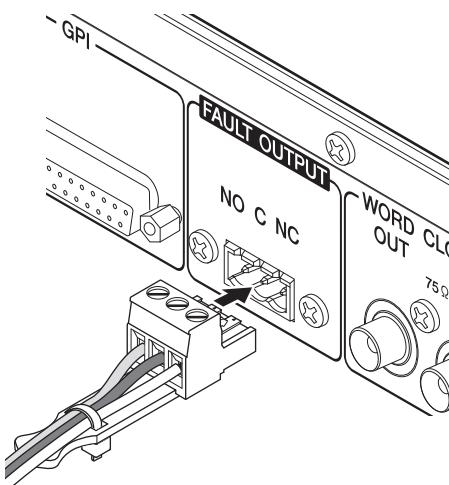
4. 付属の結束バンドを使ってケーブルをタブに固定します。



NOTE

結束バンドの不要な部分は必要に応じて切除してください。

5. ユーロブロックプラグを本体のFAULT OUTPUT端子に装着します。



オプションカードの取り付け / 取り外し

Mini-YGDAIカードの取り付け

カードを取り付ける前に、DSP-R10対応のカードか、他のヤマハまたはサードパーティー製のカードと組み合わせて何枚まで挿入可能かを、ヤマハのウェブサイトで必ずご確認ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

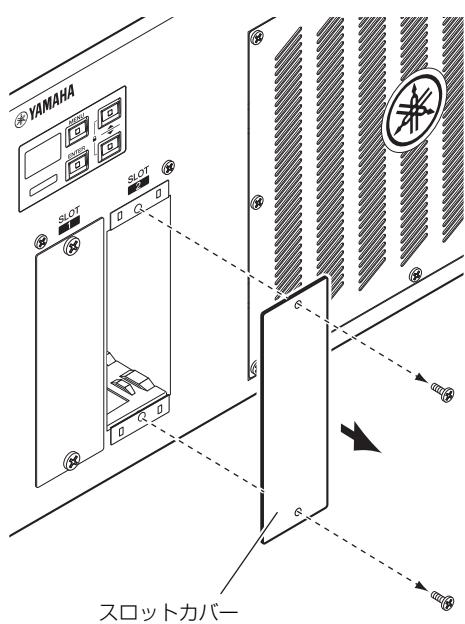
- 電源インジケーターが2つとも消えていることを確認します。

△ 注意

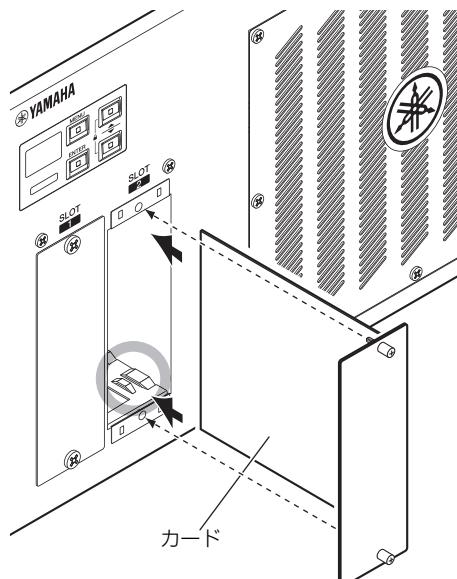
電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

- スロットの固定ネジを下→上の順で外し、スロットカバーを取り外します。

取り外したスロットカバー やネジは、安全な場所に保管してください。



- スロット内のガイドレールにカードの両端を合わせ、カードをスロットに挿入します。このとき、カードの端子部分がスロット内部の端子に正しく挿さるようカードをいっぱいまで押し込んでください。



- カードに取り付けられているネジでカードを固定します。カードが固定されていないと、故障や誤動作の原因になります。

Mini-YGDAIカードの取り外し

- 電源インジケーターが2つとも消えていることを確認します。

△ 注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

- カードを固定しているネジを外します。

- ネジを持って、カードを手前に引き出します。

- 保管しておいたスロットカバーを取り付け、ネジで固定します。

HYカードの取り付け

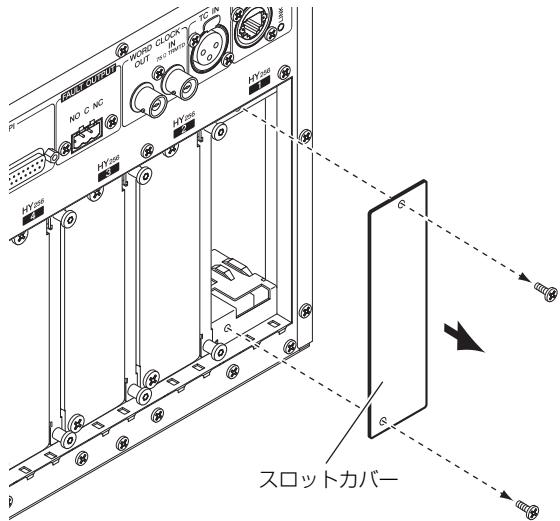
- 電源インジケーターが2つとも消えていることを確認します。

△ 注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

- スロットの固定ネジを外し、スロットカバーを取り外します。

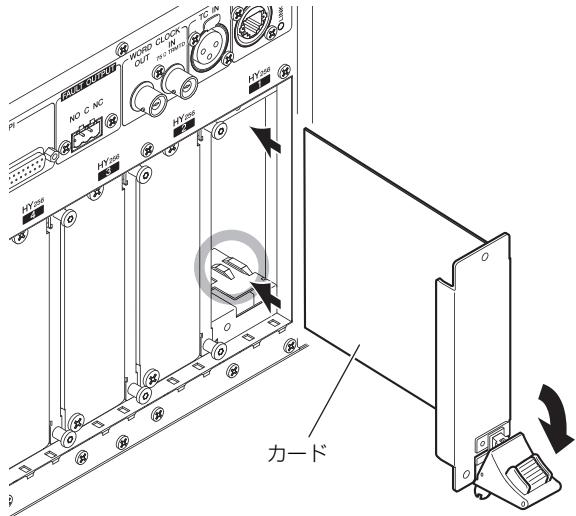
取り外したスロットカバーとネジは、安全な場所に保管してください。



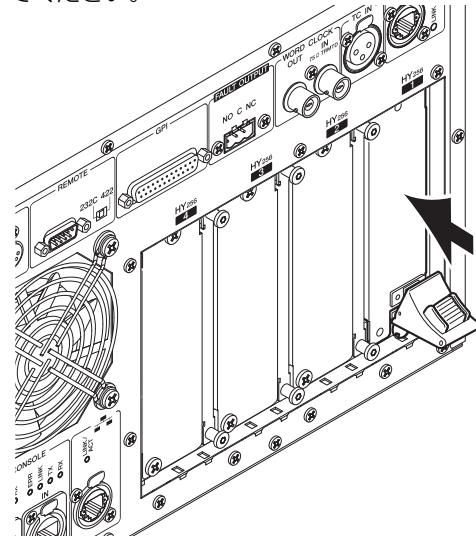
- スロット内のガイドレールにHYカードの両端を合わせ、カード脱着用レバーを下げる状態でスロットに挿入します。

NOTE

各スロットに対応するカードについては、「各部の名称と機能」(11ページ)をご参照ください。



このとき、カードの端子部分がスロット内部の端子に正しく挿さるようカードをいっぱいまで押し込んでください。

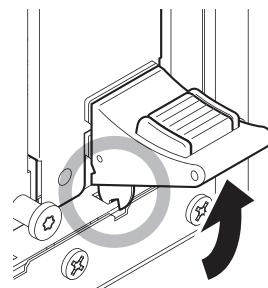


- カード脱着用レバーを上に持ち上げて、カードをロックします。

レバーのツメがスロットの下端にしっかりとはまっていることを確認してください。

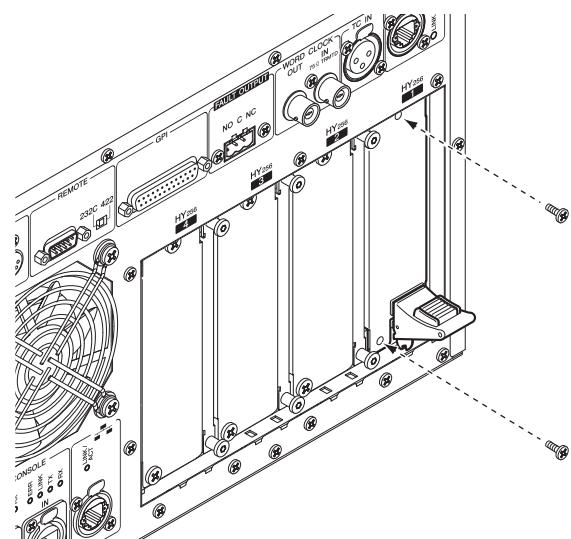
NOTE

ツメがはまらないときは、ロック直前でカードを少し持ち上げてください。



- スロットカバーを止めていたネジでカードを固定します。

カードが固定されていないと、故障や誤動作の原因になります。



HYカードの取り外し

- 電源インジケーターが 2 つとも消えていることを確認します。
- カードを固定しているネジを外します。
- カード脱着用レバーのボタン(赤)を押して、カードのロックを外します。
- カード脱着用レバーを下に押して、カードを手前に引き出します。
- 保管しておいたスロットカバーを取り付け、ネジで固定します。

△ 注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

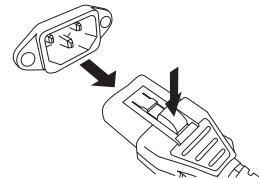
電源の準備

電源コードの接続

- 本体の電源スイッチ A/B を両方ともオフにします。
- 付属の電源コードの 1 本を本体リアパネルの AC IN 端子 (A) に、もう 1 本を本体リアパネルの AC IN 端子 (B) に接続します。
- 電源コードのもう一端のプラグを 2 本とも電源コンセントに接続します。

NOTE

- 電源コードを外すときは、上記の手順を 1→3→2 の順で行ってください。
- 電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



△ 警告

- 電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。

△ 注意

- 電源コードを接続したり、取り外したりする前に電源を必ずオフにしてください。
- 電源スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。

電源のオン/オフ

スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にパワーアンプの電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にパワーアンプの電源を切ってください。

NOTE

電源の冗長性を確保するため、本体の電源 A/B を両方ともオンにしてください。片側だけがオンの場合、液晶画面にエラーメッセージが表示され、カラーインジケーターが黄(点灯)になります。

困ったときは

ヤマハプロオーディオサイトに、FAQ（よくあるご質問と答え）を掲載しています。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

電源が入らない

- 電源スイッチがオンになっていますか？
- 電源コードを接続していますか？
- ➡ それでも電源が入らない場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

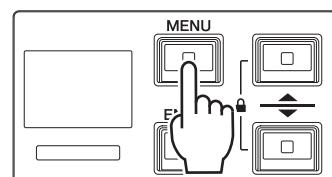
音が入力されない

- オプションカードは正しく装着されていますか？
- ケーブルは正しく接続されていますか？

工場出荷時の状態に戻す

以下の操作で、本体の内部メモリーを工場出荷時の状態に初期化できます。

1. 電源オンの状態で、本体フロントパネルの [MENU] キーを押します。



2. [▲]/[▼] キーを使って “Initialz” を選択します。

3. [ENTER] キーを押します。

Press&Hold
[ENTER] to
initialize

4. [ENTER] キーを 2 秒以上押し続けます。

内部メモリーが初期化され、本体が自動的に再起動します。本体が再起動したら、初期化完了です。
初期化をやめるには、[ENTER]キーの代わりに [MENU]キー、[▲]キー、[▼]キーのどれかを押します。

メッセージ一覧

フロントパネルの液晶画面とカラーインジケーターに警告/注意のメッセージが表示されます。

警告メッセージ

修理が必要になる場合があります。巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

液晶画面 メッセージ	カラーインジ ケーター表示	内容
*[ERR M0#] H/W ERROR MY SLOT#	赤(点滅)	MYカードスロットに挿入されているカードにアクセスできない。 # はエラーが発生したスロット番号を示します。
*[ERR H0#] H/W ERROR HY SLOT#	赤(点滅)	HYカードスロットに挿入されているカードにアクセスできない。 # はエラーが発生したスロット番号を示します。
*[ERR T11] TWINLANe TV B OP IP	赤(点滅)	HY256-TLの光トランシーバーモジュールに異常がある。 T : 温度、V : 電圧、B : バイアス電流、OP : 出力光量、IP : 入力光量をそれぞれ示します。 このエラーは、[ERR T12]の対策方法(下記)で改善する場合があります。
*[ERR X0#] H/W ERROR	赤(点滅)	内部部品に異常がある。 # はエラーが発生した内部部品を示します。
*[ERR X1#] H/W ERROR BOARD#		
*[ERR X16] MEMORY ERROR	赤(点滅)	
*[ERR F01] COOLING FAN ERROR	赤(点滅)	冷却ファンに異常がある。

* はUnit IDを示します。

注意メッセージ

液晶画面 メッセージ	カラーインジ ケーター表示	内容	対策方法
*[ERR T0#] TWINLANe WRONG LOOP	赤(点滅)	光ファイバーケーブルの接続が正しくない。 #はエラー内容を示します。 1：自分自身へのループバック(IN-OUT) 2：入力端子同士の接続(IN-IN) 3：出力端子同士の接続(OUT-OUT)	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR T07] TWINLANe OPEN LOOP	黄(点灯)	光ファイバーケーブルの接続が正しくない。 TWINLANeネットワークのループがクローズしていません。	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR T12] TWINLANe TVB OP IP	黄(点灯)	HY256-TLの光トランシーバーモジュールのエラー。 T：温度、V：電圧、B：バイアス電流、 OP：出力光量、IP：入力光量をそれぞれ示します。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが確実に挿入されているか確認する。 市販の光ファイバー専用クリーニングツールを使って、ケーブルの両端および本カードの端子をクリーニングする。 別のケーブルに交換する。 <p>上記の対処をしても問題が解消されない場合は、動作に支障ありませんが、早めに点検が必要です。巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。</p>
*[ERR T0#] CONSOLE NETWK WRONG LOOP	赤(点滅)	イーサネットケーブルの接続が正しくない。 #はエラー内容を示します。 4：自分自身へのループバック(IN-OUT) 5：入力端子同士の接続(IN-IN) 6：出力端子同士の接続(OUT-OUT)	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR T08] CONSOLE NETWK OPEN LOOP	黄(点灯)	イーサネットケーブルの接続が正しくない。 Console Networkのループがクローズしていません。	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR W01] BNC UNLOCK	赤(点滅)	WORD CLOCK IN端子に入力されるワードクロックにロックできない。(クロックソースにWORD CLOCK INを選択した場合)	クロックを供給している外部機器を確認してください。
*[ERR W02] DATA CORRUPT TRY RE-SYNC	赤(点滅)	本体内のミキシングデータがこわれている。 前回ファイルのロードやデータ同期(SYNC)の途中で電源が切れるなどして中断された可能性があります。	コントロールサーフェスからデータを送り込む方向で再度同期(SYNC)を行なってください。
*[ERR P01] POWER A OFF	黄(点灯)	A側の電源入力がない。	A側の電源スイッチがオンになっていること、A側の電源コードが接続されていることを確認してください。
*[ERR P02] POWER B OFF	黄(点灯)	B側の電源入力がない。	B側の電源スイッチがオンになっていること、B側の電源コードが接続されていることを確認してください。
*[ERR C11] LOW BATT	黄(点灯)	バックアップバッテリーの電圧が2.8V以下に下がっている。	お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。
*[ERR C12] NO BATT	黄(点灯)	バックアップバッテリーの電圧が2.45V以下に下がっている。	お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。

* はUnit IDを示します。

NOTE

複数の問題が発生した場合は、[▲]/[▼]キーで切り替えてメッセージを確認できます。

仕様

一般仕様

サンプリング周波数

		条件	Min.	Typ.	Max.	単位
外部クロック	Frequency Range	Fs= 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	-1000	—	+1000	ppm
	Jitter of PLL ^{*1}	WORD CLOCK IN Fs= 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	—	—	10	ns
内部クロック	Frequency	Word clock : int 44.1 kHz Word clock : int 48 kHz Word clock : int 88.2 kHz Word clock : int 96 kHz	—	44.1 48 88.2 96	—	kHz
	Accuracy	Word clock : int 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	-50	—	+50	ppm
	Jitter ^{*2}	Word clock : int 44.1 kHz Word clock : int 48 kHz Word clock : int 88.2 kHz Word clock : int 96 kHz	—	—	4.5 4.1 2.3 2.1	ns

*1. 入力クロックのジッタは 1ns 以下のこと

*2. WORD CLOCK OUT 端子で測定

電源条件

	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
消費電力	100–240V 50/60 Hz	—	—	190	W
発熱量	100–240V 50/60 Hz	—	—	164	kcal/h

ACケーブル長と温度範囲

	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
ACケーブル長		—	250	—	cm
温度範囲	Operating temperature range	0	—	40	℃
	Storage temperature range	-20	—	60	℃

コントロールI/O規格

端子		フォーマット	レベル	コネクター	Balanced / Unbalanced
MIDI	IN	MIDI	–	DIN 5pin	–
	OUT	MIDI	–	DIN 5pin	–
TC IN	SMPTE	SMPTE	0.3Vpp(Min.)/10.0Vpp(Max.), 10kΩ	XLR-3-31 type ^{*1}	Balanced
WORD CLOCK		IN	TTL/75Ω terminated	BNC	–
		OUT	TTL/75Ω	BNC	–
GPI		–	–	D-SUB (25pin, Female) ^{*2}	–
REMOTE		–	RS422 / 232C ^{*3}	D-SUB (9pin, Male)	–
FAULT OUTPUT	NO	–	< DC30V , < 1A	Euro Block Connector 3P	–
	C ^{*4}	–	–		–
	NC	–	< DC30V , < 1A		–
TO CONSOLE IN/OUT		–	1000BASE-T	etherCON CAT5e ^{*5 *7}	–
NETWORK		IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	etherCON CAT5 ^{*6 *7}	–
NETWORK [PC]		IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	etherCON CAT5 ^{*6 *7}	–

*1. 1=GND, 2=HOT, 3=COLD

*2. Inputs

CH 1-7: TTL logic (input voltage: 0-5V)

CH 8: Optocoupler (input voltage: 0-24V / Low level ≤ 1V, High level: ≥ 5V)

Outputs

CH 1-7: Open-drain (Max. external supply voltage =12V, Max. sink current per pin=75mA)

CH 8: Relay Contact (Max. 1A/30VDC)

Power Supply Pins (5V ± 5%, Max. total output current=600 mA)

*3. スイッチで切替

*4. C 端子は Fault 検出時 NO 端子とショート、通常時 NC 端子とショート

*5. 接続するケーブルは、CAT5e 以上

*6. 接続するケーブルは、CAT5 以上

*7. 接続するケーブルは、STP を推奨

外形寸法(WxHxD)・質量

480mm × 232mm × 490mm (ゴム足含む)、20kg

付属品

取扱説明書、電源コードx2、ユーロブロックプラグ3P

別売オプション

Mini-YGDAIカード、HYカード

EIAラックマウントサイズ

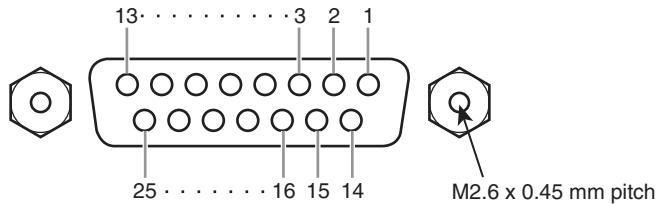
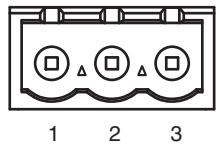
5U

NC値

Lowモード : NC=15 / Highモード : NC=20

測定条件 : 機器正面から100cm位置で測定。

ピニアサイン表



FAULT OUTPUT

Pin No.	Signal
1	NO (Normally Open)
2	C (Common)
3	NC (Normally Closed)

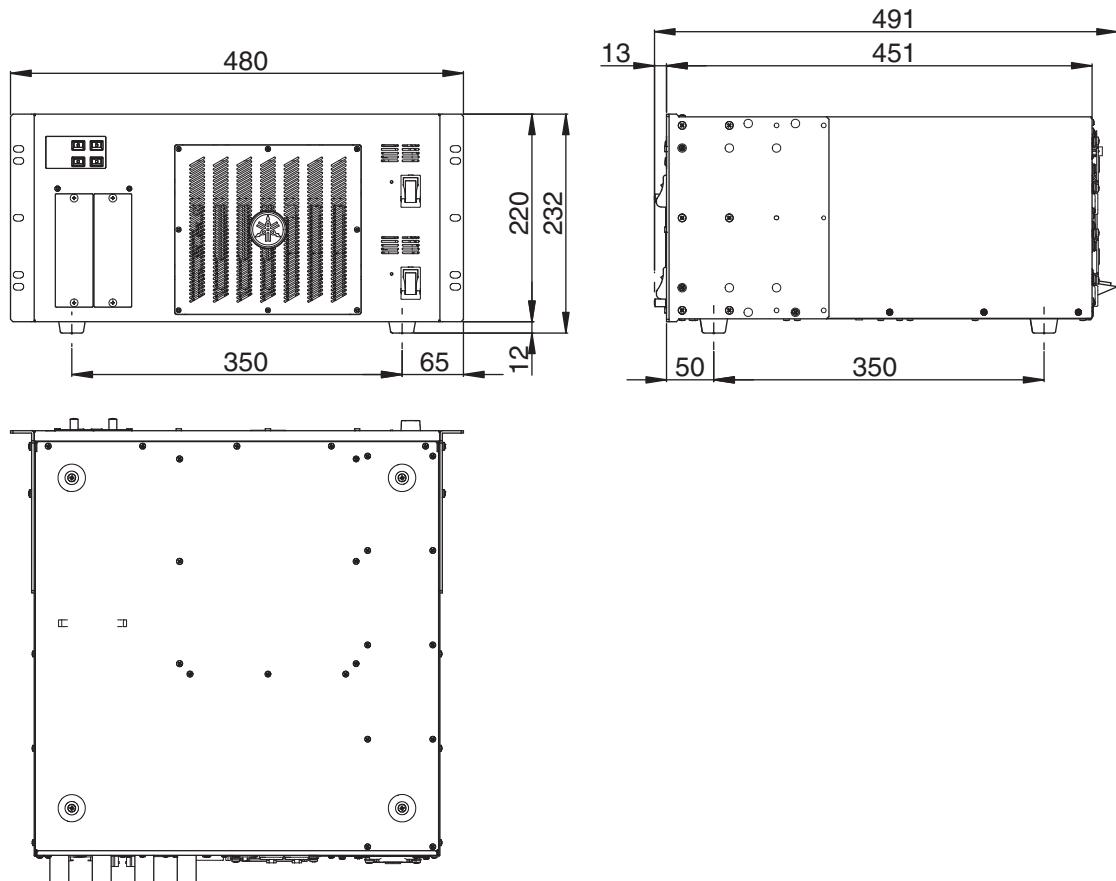
* Relay Contact

GPI

Pin No.	Signal
1	GPO1
2	GPO3
3	GPO5
4	GPO7
5	RLY_C
6	GND
7	GND
8	OPTO+
9	+5V
10	GPI2
11	GPI4
12	GPI6
13	N.C.

Pin No.	Signal
14	GPO2
15	GPO4
16	GPO6
17	RLY_NC
18	RLY_NO
19	GND
20	OPTO-
21	+5V
22	GPI1
23	GPI3
24	GPI5
25	GPI7

寸法図



外装色マンセル近似値：N5

単位: mm

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

Software Licenses and Copyrights

This product incorporates the following third party software.

For information (copyright, etc.) about each software, please read the terms and conditions stated below.

By using this product, you will be deemed to have accepted the terms and conditions.

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

SimpleFileWatcher

-- SimpleFileWatcher License --

The MIT License

Copyright (c) 2009 James Wynn (james@jameswynn.com)

expat, SimpleFileWatcher

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED,
INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE
LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT
OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER
DEALINGS IN THE SOFTWARE.

uIP

Copyright (c) 2001-2003, Adam Dunkels.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT,
INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This file is part of the uIP TCP/IP stack.

Copyright (c) 2005-2014 Texas Instruments Incorporated. All rights reserved.
Software License Agreement

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This is part of revision 2.1.0.12573 of the Tiva Peripheral Driver Library and Tiva Firmware Development Package.

索引

B

Brightns (Brightness) 9

C

Contrast 9

F

F/W Ver. (Firmware Version) 9

Fan Spd (Fan Speed) 9

FAULT OUTPUT 10

FaultOut (Fault Output) 9

H

HY カード

取り付け 14

取り外し 15

I

Initialz (Initialize) 9

M

Mini-YGDAI カード

取り付け 13

取り外し 13

U

Unit ID 9

あ

アップデート 8

え

エラーメッセージ 17

お

オプションカード 13

か

カード

取り付け

HY カード 14

Mini-YGDAI カード 13

取り外し

HY カード 15

Mini-YGDAI カード 13

し

初期化 16

せ

設定

Brightns (Brightness) 9

Contrast 9

F/W Ver. (Firmware Version) 9

Fan Spd (Fan Speed) 9

FaultOut (Fault Output) 9

Initialz (Initialize) 9

Unit ID 9

て

電源コードの接続 15

電源のオン / オフ 15

ふ

ファームウェア

アップデート 8

ゆ

ユーロロックプラグの取り付け 12

ら

ラックマウント 8

り

リセス 8

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



0570-050-808

※固定電話は全国市内通話料金をご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付 月曜日～金曜日 11:00～19:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5652-3634

オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※固定電話は全国市内通話料金をご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5762-2125

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)

06-6649-9340

西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17

ナンバード本ニッセイビル7F

FAX 06-6649-9340

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12

KDX箱崎ビル1F

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。

お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

出張修理**保証書**

品名	シグナルプロセッサー	
品番	DSP-R10	
※シリアル番号		
保証期間	本体	お買上げの日から1ヶ年間
※お買上げ日	年月日	
お客様	<input type="text"/> - <input type="text"/> ご住所 お名前 電話 ()	

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
 お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	印
	所在地	
	電話	()

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
 〒103-0015
 東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
 TEL. 03-5652-3850

保証規定

1. 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) 消耗部品の交換。
 - (7) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。

5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in Japan.

6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハダウンロード
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2015 Yamaha Corporation

2017年12月 改訂 YJTO-C0
Printed in Japan

VAK2670